

静 修

◇学校だより
平成30年 【7月号】
光市立上島田小学校



学校ホームページ

HP <http://kamishimata-e.hikari-net.ed.jp/>

～平成30年度コミュニティ・スクール（CS）Ⅱ～

コミュニティ・スクールとは？

- ・地域の声を受け取る仕組み（学校運営協議会）をもつ学校のことです。

コミュニティ・スクールのねらい

- ・学校と地域が願いや思いを共有して、連携・協働して地域の大切な子どもたちを育てようとする事。
- ・地域住民が、地域の将来を担う人材を育成するために、学校を核とした協働の取組を行うことで、自立した地域社会の基盤（共助）の構築を目指す「学校を核とした地域づくり（スクール・コミュニティ）」の推進を図ること。



C S 推進部全体会

コミュニティ・スクールの活動方針

- ・「学校に人を呼ぶ」、「地域に関わる」

コミュニティ・スクールの組織

- ・次の5つの部会を設置しています。それぞれの部会は、学校運営協議会委員、地域住民、PTA、教職員で構成されています。
- (1) 学習支援部・・・(授業・行事・スキルアップ・校外学習・体験活動の支援)
- (2) 心の教育部・・・(あいさつ運動、読み聞かせ・ふれあい活動・家庭教育の支援)
- (3) 安全・体力づくり部・(見守り活動、食育・体力づくりの支援)
- (4) ボランティア部・・・(校舎内外の環境整備の支援)
- (5) 広報部・・・(広報誌作成、啓発活動)

～「読み聞かせ」が毎月1回あります～

コミュニティ・スクール「心の教育部」では、「読み聞かせ」を毎月1回、第3水曜日に開催しています。時間は、朝自習の時間（8：10～8：25）です。本校の古田先生（図書指導員）とボランティアの方々が、各クラスで絵本の読み聞かせを行い、読書の楽しさを伝えてくださっています。いつでも、どなたでも参観できます。また、読み聞かせのボランティアも募集しています。初心者の方も大歓迎です。希望者がありましたら、学校までご連絡ください。まずは、参観して様子をご覧ください。

今年度の予定

月	日 (曜日)	月	日 (曜日)
7	18 (水)	12	19 (水)
9	19 (水)	1	16 (水)
10	17 (水)	2	20 (水)
11	21 (水)	3	6 (水)



読み聞かせの光景

※3月は第1週目に開催します。

～クリーン光大作战へのご協力をよろしくお願ひします～

7月8日（日）は「クリーン光大作战」が実施されます。児童が地域の環境美化活動に積極的に参加し、地域の一員としての自覚がもてるように、各ご家庭でも声かけをよろしくお願ひします。

～ 7・8月の行事予定～

日	曜	行事内容	日	曜	行事内容
【7月】					
2	月	委員会活動	23	月	スキルアップ教室
3	火	掃除ローテーション			水泳教室
		校納金引落日	個人懇談会		
5	木	学校保健安全委員会	24	火	スキルアップ教室
		P T A 役員会			水泳教室
		救急蘇生法講習会 (P T A)	25	水	個人懇談会
9	月	地区児童会	【8月】		
		クラブ活動	2	木	プール開放
10	火	あいさつ運動	3	金	プール開放
11	水	英語であそぼう	8	水	プール開放
		宿泊学習 (5 年生) ～ 1 3 日	13	月	学校閉庁日～15日
18	水	読み聞かせ	17	金	振替休日
		あんしん教室	18	土	上島田地区盆踊り大会
19	木	プール納め	25	土	親子除草作業
20	金	あいさつ運動	/		
		全校集会			

※8月13日（月）～15日（水）は、「学校における働き方改革」の一環として、光市が学校閉庁日としました。閉庁期間は、学校の教職員は不在となります。緊急の用件がある場合は、光市教育委員会学校教育課（TEL 74-3602）に連絡してください。

～「家事手伝い」が自立心を育む③～

ある記事に「家事手伝い」が自立心を育む（失敗や挫折を乗り越えられない若者）という興味深い記事がありましたので、5月号、6月号で2回にわたって掲載してきました。今回で最終回になります。

③（親の責務）

現在は、子どもが塾や部活動で忙しく、親も子どもの都合を優先するため、手伝いなどさせない家庭が増加している。また、両親が共働きの場合、自分がやってしまうほうがさっさと片付き手取り早いなどの理由で手伝いをさせない家庭もある。さらには、家事の機械化が進み、掃除などは全自動でやってくれるため、家事を手伝う必要性がなくなっている状況もある。

親が子どもを過剰に保護するあまり、また、便利な道具がどんどん家庭の中に入ってくるあまりに、子どもたちの役割が次々に失われてしまっている。大げさに言えば、親の言うことを素直に聞き、勉強して就職するのに都合のよい学校に進んで、親を困らせないことだけが、子どもの役割になってしまっている。これでは、頭でっかちの指示待ち人間が育つだけで、自主性や自立心は育めない。

子どもの家事手伝い、あるいは集団生活には、子どもに自主性や忍耐力、責任感や連帯感を育むなど、多様な意味がある。子どもを一人前に育てる上で最も大切なことは、知、徳、体のバランスがとれた人間に育てることである。学力ばかりが進んでも、人格的に未熟で、わがままや自己中心的であったり、体力が不足したりしていたのでは将来困るのは子ども自身である。家事手伝いや集団生活をとおして、子どもをバランスのとれた、社会に役立つような人間に育てる義務が親にはあることを忘れてはならない。

